

障害者支援施設アドレス・高知 地域連携推進会議

本会議は、地域の関係者を含めた外部の方が参画し、利用者と地域との関係づくり、地域の人への施設や利用者に関する理解の促進、施設やサービスの透明性・質の確保、利用者の権利擁護を達成するための会議体です。

○令和8年3月11日開催の議事録

I 会議要旨

1 挨拶

2 出席者紹介

(1) 事務局 施設長 黒田 孝道、事務長 桐生 剛、看護師長 谷山 智砂、
サービス管理責任者 米澤 真琴

(2) 推進員 利用者（1名）、利用者のご家族（1名）、地域の関係者（1名）、
福祉に知見のある人（1）、施設所在地の市町村（高知市）（2名）

3 地域連携会議の活動説明

(1) 会議の要旨

(2) 会議の活動

(3) 推進員の活動

4 事業計画（令和7年度事業計画）

(1) 障害者支援施設アドレス・高知

(2) 特定相談支援事業所アドレス・高知

5 施設紹介（アドレス・高知のホームページ）

6 施設案内

7 施設運営の課題と取り組み（人材確保）

8 助言・質疑等

II 助言・質疑等の内容

Q)風呂場には、暖房設備が無かったが、冬などは寒くないですか。

A) 入浴前に、風呂場と更衣室の出入り口を開け、更衣室の空調で更衣室と風呂場を温めています。また、風呂を待ついただく時は、向かいの部屋を待機所とし、冬は暖房、夏は冷房し、対応しています。

Q) 人材確保が難しいことは理解できますが、週2回の入浴を週3回にできませんか。利用者から、希望はありませんか。

A) 取り組みたいのですが、現状では難しいです。利用者の方から要望として具体的に上がったことはありませんが、利用者の方の思いは感じています。

Q) 日中や夜勤の職員数は、どのような状況ですか。

A) 日中の職員数は、看護が4名前後、介護が7～8名、リハが2名です。

Q) 同性介助の対応はどのような状況ですか。

A) 同性介助を希望される方には、同性介助で対応していますが、職員の体制から、ご了解をいただいている方もおられます。夜勤時には、女性の利用者の排泄介助時には、男性職員がトイレまでお連れし、女性職員に引き継ぐという対応をしています。